

貸与と販売の提案に係る注意点

対象福祉用具販売の提供にあたり、貸与と選択ができることについて十分な説明を行ったうえで、利用者の当該選択にあたって必要な情報を提供すること。また、提供したという事実を福祉用具販売計画に記録し、申請書に添付すること。

利用者の選択にあたって必要な情報

- ・利用者の身体状況の変化の見通しに関する医師やリハビリテーション専門職等から聴取した意見
- ・サービス担当者会議等における多職種による協議の結果を踏まえた生活環境等の変化や福祉用具の利用期間に関する見通し
- ・貸与と販売それぞれの利用者負担額の違い
- ・長期利用が見込まれる場合は販売の方が利用者負担額を抑えられること
- ・短期利用が見込まれる場合は適時適切な福祉用具に交換できる貸与が適していること
- ・国が示している福祉用具の平均的な利用月数（※）

（例）

- ・4点杖の利用は今後も欠かせないとリハ職、医師より助言あり。
- ・貸与の場合4点杖の利用者負担額は1500円の1割負担で月150円。
- ・販売なら10000円の1割負担、1000円で購入可能。約7ヵ月使うなら購入の方が負担が少なくなる。
- ・ただし貸与の場合は交換ができるが、販売の場合は新たに買わないといけない。1年間で使える支給限度額が同一年度で10万円と決まっている。などの情報提供を行う。

※選択制の対象福祉用具の平均的な利用月数（出典：介護保険データベース）

- | | | | |
|----------|-----------|------|-----------|
| ・固定用スロープ | : 13.2 カ月 | ・歩行器 | : 11.0 カ月 |
| ・単点杖 | : 14.6 カ月 | ・多点杖 | : 14.3 カ月 |

参考資料

【福祉用具サービス計画の作成に関するガイドライン等】

① 「説明様式」

URL : http://www.zfssk.com/sp/1204_monitoring/index.html

② 「ガイドライン」

URL : http://zfssk.rgr.jp/h30reportpdf/h30report_08.pdf

③ 「福祉用具の適切な貸与に関する普及啓発事業」報告書

URL : http://www.zfssk.com/sp/1302_chosa/2018_index.html

※掲載先：一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会ホームページ

【現に従事している福祉用具専門相談員を対象とした研修】

① 「福祉用具専門相談員更新研修（ふくせん認定）」

URL：<https://www.zfssk.com/event/renew.php>

※掲載先：一般社団法人 全国福祉用具専門相談員協会ホームページ

② 「福祉用具選定士認定研修会」

URL：<https://www.fukushiyogu.or.jp/ginoushi/index.html>

※掲載先：一般社団法人 日本福祉用具供給協会ホームページ

③ 「福祉用具プランナー認定講習」

URL：<https://www6.techno-aids.or.jp/html/planner.html>

※掲載先：公益財団法人 テクノエイド協会ホームページ

【介護保険制度における福祉用具貸与・販売種目のあり方検討会対応の方向性に関する取りまとめ】

URL：<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/001164877.pdf>

※掲載先：厚生労働省ホームページ

【福祉用具貸与事業所向けの事故報告様式案】

【福祉用具の利用安全のための福祉用具貸与事業所の体制・多職種連携を強化するための手引き】

URL：https://fukushiyogu.or.jp/guide/detail_2022_houkokusyo.html

※掲載先：一般社団法人日本福祉用具供給協会ホームページ